

平成26年度 地方文化事業支援について

JR東日本は、鉄道文化をとおした社会貢献を目的に公益財団法人東日本鉄道文化財団を設立し、事業の一環として、平成5年度より地方文化事業支援を行っております。

平成26年度は、選考委員会での審議の結果23件の支援事業が承認され、水戸支社管内の事業としては、茨城県常陸太田市の「西山荘整備活用事業」及び茨城県龍ケ崎市の「明治の近代化遺産赤レンガ保存・赤レンガ門柱移築事業」に対して支援を行い、貴重な文化財の保全、地域の発展のために活動してまいります。

1 地方文化事業支援について

JR東日本では公益財団法人東日本鉄道文化財団をとおして、平成5年度より地方文化の振興を目指し、JR東日本管内各地の貴重な文化遺産や伝統芸能などの保全と継承、地域の発展のために、資金援助という形で地方文化事業の支援を行っております。平成26年度までの支援事業の合計件数は151件になります。

2 平成26年度の水戸支社エリアの支援事業について

(1) 「西山荘整備活用事業」(新規)【常陸太田市】

① 支援内容

県指定史跡西山荘は、水戸藩第2代藩主徳川光圀が藩主を辞した10年間を過ごした隠居所で、自然の地形を活かした池と築山、滝が配置された庭園とそれらを望む茅葺屋根の質素な御殿などからなっており、所有者である公益財団法人徳川ミュージアムにより一般公開が行われている。

東日本大震災により半壊し、平成26年12月の完成を目指し県の補助金等で修復工事が進められている。修復現場を観光客に見ていただいております。昨年は年間約4万人が訪れている常陸太田市有数の観光地である。

平成26年度は西山荘の保護保存を図るとともに、景観の維持向上、交流人口の増加と地域の活性化を目指すため、崩落斜面の修復工事、土橋整備工事を実施します。

② 支援金額 350 万円



【崩落した築山】



【土橋が架られていた場所】

(2) 「明治の近代化遺産赤レンガ保存・赤レンガ門柱の移築事業」(新規)【龍ヶ崎市】

① 支援内容

明治末に建てられた諸岡邸宅にあった門・塀は、近代建築としてレンガ造りが全国的に広がりを持った頃建設され、関東鉄道竜ヶ崎駅の近くに所在し、100年近く市民に親しまれている。諸岡良佐(もろおか りょうすけ)氏は、検事正を辞した後、龍ヶ崎町長も務め、その子、諸岡良夫(もろおか よしお)氏は小学校を創設した町長として市民に親しまれている。平成18年所有者の都合により解体の危機にあったが、地域遺産として保存し、後世に遺そうという市民の声で「赤レンガ保存実行委員会」が発足。平成26年度は、現地より一旦避難・撤去している赤レンガが後世へと継承されることを強く望み、その門柱を八坂神社の隣地に移築を実施する。

②支援金額 178 万円



【移築場所の八坂神社の隣地】



【移築後のイメージ写真】

3 水戸支社エリアのこれまでの支援事業について

水戸支社エリアでは平成6年度から平成25年度までに7件の事業に対して支援を行っております。

地方文化事業支援助成一覧

事業名	期間	自治体名	支援金額
今甦る常陸国風土記	平成6年度 ～8年度	石岡市ほか	500万円×3年間
西金砂神社大田楽の復元・執行	平成12年度 ～14年度	常陸太田市	500万円×3年間
西塩子の回り舞台と組立技術 ・地芝居等修得・育成	平成16年度 ～18年度	常陸大宮市	500万円×2年間 402万5千円×1年間
日立風流物の保存伝承事業	平成19年度 ～21年度	日立市	500万円×3年間
常府いしおかの歴史的建造物等 保存事業	平成22年度 ～23年度	石岡市	350万円×1年間 150万円×1年間
水戸黄門のみち整備事業	平成23年度 ～25年度	常陸太田市	350万円×3年間
相馬野馬追祭場地施設修繕 整備事業	平成24年度 ～25年度	南相馬市	250万円×2年間

※ 『常陸太田市西山荘整備活用事業』および『明治の近代化遺産赤レンガ保存・赤レンガ門柱移築事業』の事業支援承認書贈呈式については、決まり次第別途お知らせいたします。